企業の災害備蓄食品を廃棄から寄付へつなぐ

Stock & Cycle®

ストクル+

能美防災 株式会社

能美防災について

能美防災は、災害から人と社会を守る**総合防災企業**です。防火・防災事業の一つとして、災害に備えるための**災害備蓄品を提案・販売**しています。

ストクル＋では、備蓄品の提案・販売に加え入替後のまだ食べられる備蓄食品を、食料支援を行う団体（フードバンク等）への寄付につなぐ取組を行っています。



住宅や工場、病院、空港など、さまざまな建物・施設に能美防災の防災設備が入っています。

ストクル＋は、新しい備蓄品の提案・販売と、入替後のまだ食べられる食品の寄付を、一貫して支援。

購入



備蓄品を購入

備蓄



災害に備えて保管

入替



期限を迎える前に入替

寄付



入替後の食品を寄付

備蓄品の提案・販売

寄付先選定・配送手配

備蓄食品入替の現場では

入替時には、まだ食べられる備蓄食品が発生。その食品、捨てずにどう活かすか？



災害に備え、
食品を備蓄

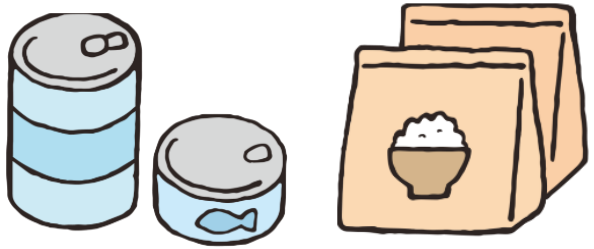


一定期間
保管



期限を迎える
前に入替

時間が経過



**まだ食べられる
備蓄食品が「残る」**

課題：寄付をつなぐための条件

寄付は食品ロス削減に有効だが、寄付の成立には、企業（団体）と寄付先、
両者の条件が合わなければ成立しない。

	食品を寄付したい **企業**	食品を受け入れたい **フードバンク等 （受入れ団体）**
品目 数量	提供できる食品・数量・賞味期限	必要な食品・受入可能量・賞味期限の受入基準
時期	備蓄食品を届けたい時期・時間	受取が可能な時期・時間
物流	搬出・配送条件	荷下ろし・保管条件

〇備蓄食品は、入替時に同一品目がまとまった量で発生しやすい。
〇受入れ先の必要量・保管能力・受取時期との調整が課題となる。

ストクル＋が、企業と寄付先、両者の条件を整えて寄付につなげる

ストクル＋（能美防災）

寄付先選定・条件確認・調整・配送手配

	企業	寄付先団体
品目 数量	提供する食品・数量・賞味期限	必要な食品・受入量・賞味期限の受入基準
時期	搬出希望時期	受取可能時期
物流	搬出・配送条件	荷下ろし・保管条件

提供する備蓄食品の品目・数量に応じて寄付先を選定し、受入時期・物流**条件を調整。**
配送まで手配。

解決策：３者間の仕組み



能美防災

寄付先選定・配送手配

寄付証明書発行

受入れ条件の確認・調整



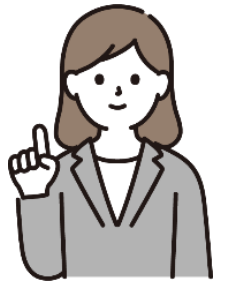
企業
（寄付元）

寄付手数料・配送費

売上の一部を寄付※



備蓄食品を寄付



フードバンク等
（受入れ団体）

企業と受入れ団体の負担を減らし、食品を必要とする人へ

※売上の一部の寄付先は、備蓄食品の寄付先と必ずしも同一ではない。

企業の備蓄食品入替を、フードバンクへの寄付につなげた事例



寄付先団体への保存水搬入の様子

①寄付先の選定・受入条件の確認

備蓄食品の品目・数量に合う寄付先を選定し、受入条件を確認

②搬出・配送日程の調整

企業の入替予定と寄付先の受取可能日をすり合わせ、配送を手配

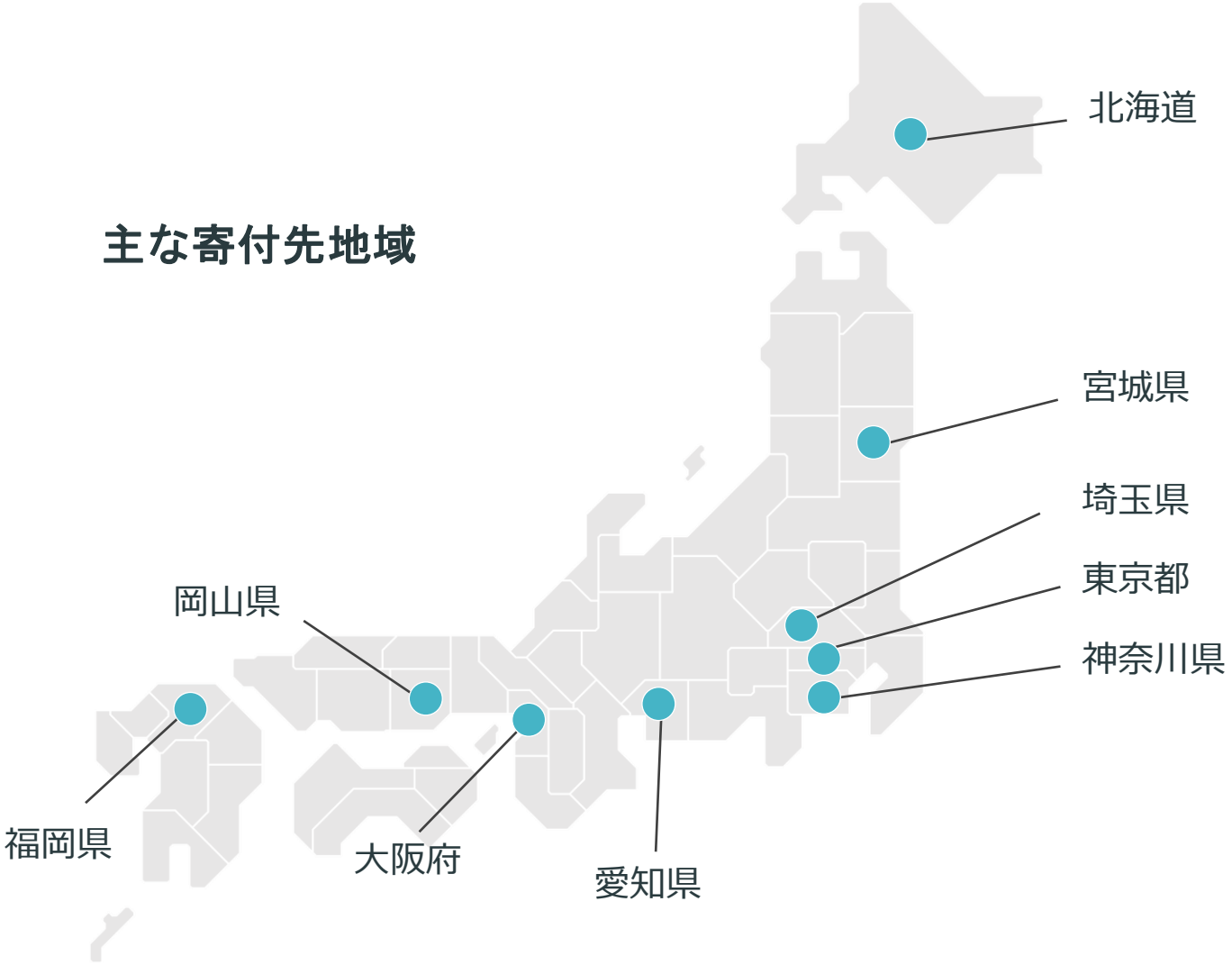
③備蓄食品の入替・寄付

調整した条件に合わせて食品を搬出し、フードバンクへ寄付

寄付先の確保だけでなく、**受入条件と搬出・配送の調整まで**ストクル＋が担当。

寄付の仕組みを、さらに全国へ

主な寄付先地域



※寄付先の所在地を都道府県単位で表示

○寄付仲介量

約 **37.1** トン

○寄付先

延べ **27** 団体以上

2026年3月31日時点

Stock & Cycle ストクル+

入替後の備蓄食品は、捨てられることなく活用。食料支援や食品ロス削減の学び、地域の防災活動へとつながる。

食料支援の現場へ



フードバンク団体へ
備蓄食品・保存水を寄付

学びの場へ



備蓄食品を学園祭で活用

地域で防災を伝える場へ



地域のお祭りでの防災啓発
活動に備蓄食品を寄付

寄付を一度きりで終わらせない仕組み

ストクル+が、次回の備蓄入替でも寄付を検討する機会をつくり、企業と受入れ団体の条件をその都度調整することで、継続的な寄付につなげる。

寄付を備蓄入替業務に組み込む

定期的に発生する備蓄入替

前回の購入・入替情報 → 引継ぎ → **次回の入替時期に合わせて案内・提案**

備蓄食品の提案・販売から、寄付まで支援

＋

毎回の条件を確認・調整

企業・受入れ団体の条件は、入替ごとに変わり得る

企業	受入れ団体
品目・数量・拠点 入替時期	必要な食品・受入可能量 受入時期・保管能力

条件確認・寄付先選定・配送手配

次回も寄付を検討・準備しやすく　　**条件が整う寄付先へつなぐ**

備蓄食品の寄付を一度きりで終わらせず、
継続的な食品ロス削減の取組へ。



－ 笑顔が一つでもふえる社会へ －